

★ 質を向上させるための取り組み（報告：実務者研修での取り組み）

1 自己評価活動 ・ 相互評価活動

その年度の修了生全員に就職状況把握調査でアンケートを取っております。
終了後の就職状況、受講後の職務内容の変化、改善などをお訊きしております。

2 実習の質の向上の為の取り組み・研修機関と実習機関との連携

・閉講式、全員にアンケートを取っています。講義・演習・実習・その他の気づきなど
受講生が感じたままの言葉を頂いております。このアンケートを、各講師、実習先に回覧し、
反省するべきところは、改善するよう心がけております。

3 研修生・事業所満足度調査情報

1) アンケート、研修生・事業所の声 一部紹介致します。

- 【講義】**
- ・これから介護職を目指すうえで、必要なことばかりで大変有効であった。
 - ・科目によってはとても難しくついていくのがやっとだったが、質問等にも答えて頂き分かりやすかった。
 - ・教科書を読むだけではなく、現場の生の声が聞けたことがとても良かった。
 - ・先生方が現場体験を元に分かりやすい講義をして頂いた。
 - ・一から基本を学ぶことは、そうそうないので大変貴重だった。
 - ・たくさんの講師の先生方が教えてくださり、色々な考え方を学ぶことが出来た。
 - ・自分が興味を持って受講した分、どの講義も大変有意義なものだった。
 - ・教科書で重複している内容もあったが、繰り返し同じ内容を学ぶことで、理解をしていくことに繋がった。
 - ・初めて聞くことばかりで難しく感じたが、レポートなど繰り返し書くことで徐々に憶え身につく感じがした。
 - ・介護経験者であったが、足りなかった知識や新しい制度のことを学ぶことが出来、とても充実していた。
- 【演習】**
- ・実技を1つ1つ丁寧に教えて頂き、何度も練習した事で身についた。
 - ・どの実技も患者様の様態によって変わってくるので全部が大変だったが、経験実績が大事だと思った。
 - ・現場での実技応用も教えて下さったので参考になった。
 - ・介護過程Ⅰ～Ⅲになるにつれ、難しくなりましたが、たくさんの事例を基に詳しく教えて頂いた。
 - ・介護過程Ⅲは難しかったが、その人の生きてきた歴史を大切にすることを学んだ。
 - ・介護過程は、介護に対して初めての人でも、とてもわかりやすかった。
 - ・医療的ケアの工程や手順を憶えていくのが大変でしたが、命に関わることとしてしっかり教わり勉強になった。
 - ・前職での医療的ケアの疑問点が解消され演習することで知識が深まった。
 - ・医療的ケアを必要とする方の気持ちに立てるような介護職になろうと思ったことが良かった。
- 【実習】**
- ・認知症の方と実際接してみて、会話が成立した時はとても嬉しかった。
 - ・利用者の送迎に際し、安全第一を優先することと、限られたスタッフのため職員間の連携が大切だと思った。
 - ・利用者一人一人にあった様々なリハビリをみる事が出来て為になった。
 - ・何をすれば良いのか戸惑いもあったが、職員の方が適切に指示をして下さって良かった。
 - ・実習は、座学通りとは行かないと実感することもありましたが、質の高い介護者目指して頑張っていきたい。
 - ・耳が不自由な利用者が、不快な思いをしないような心配りが勉強になった。
 - ・忙しい状況でも、職員が利用者様に対する接し方が丁寧で優しく良いなと思った。
- 【その他】**
- ・きついこともあったが、最後までやり通せた事に満足している。
 - ・介護報酬の問題を耳にすると、「質の高い介護職員とはどんな職員かな？」と考える。質の高い介護者目指したい。
 - ・職業能力で、自分の出来ること、出来ないこと、強みと弱みを知ることが出来た。
 - ・私が持っている普通の事が強みにも弱みにもなり、私自身、自信になった。
 - ・講義ばかりだと息が詰まりそうだったが、職業人講話、施設見学など息抜きになり、役立つ事も教わった。
 - ・施設見学に行き、自分の目で見て「どこで働きたいか？どう働きたいか？」をしっかりと考えることが出来た。
 - ・50歳を過ぎて独り立ちするのは不安ですが、6ヶ月前の自分とは違うと少しだけ自信を持って頑張りたい。